

投稿カテゴリを制限出来るプラグイン「Category Limitation」 無料プラグインのインストールから使い方

Category Limitation

記事の作成、編集画面で選択できるカテゴリを限定させます。選択を全て外すと全てのカテゴリが表示されます。

カテゴリの階層表示を維持しますか？(親カテゴリが選択されていない場合は無視されます)
はい いいえ

変更を保存

temporary

- CSS
- HTML
- PHP
- WordPress
 - Plugin
 - widget
- お知らせ
 - USER1
 - USER2

デフォルト: お知らせ

editor

- CSS
- HTML
- PHP
- WordPress
 - Plugin
 - widget
- お知らせ
 - USER1
 - USER2

デフォルト: CSS

user

- CSS
- HTML
- PHP
- WordPress
 - Plugin
 - widget
- お知らせ
 - USER1
 - USER2

デフォルト: USER2

test

- CSS
- HTML
- PHP
- WordPress
 - Plugin
 - widget
- お知らせ
 - USER1
 - USER2

デフォルト: HTML

変更を保存

ユーザー毎に投稿できるカテゴリを制限するプラグインです。ユーザーが誤って別のカテゴリに投稿しないようにプラグインで制限できます。



環境

環境データ項目	DATA
実施日	2021年秋(当時に作成されたデータです。)
プラグイン Ver	2.3.3※バージョンによっては説明に食い違いが生じます。
WordPress Ver	5.81
PHP Ver	7.4

STEP 1 プラグイン=インストール

category-limitation [ダウンロード](#)

プラグイン=インストール

- zipファイルをダウンロードします(上記よりダウンロードしてください。)
- zipファイルを展開後、フォルダごとプラグインフォルダに入れます。
- プラグインの管理画面から「Category Limitation」を有効化します。

設定方法

「設定」メニューから「Category Limitation」を選択します。

初期設定は特別ななき、ユーザー毎に許可するカテゴリにチェックを入れます。
チェックを全て外すと全てのカテゴリを表示させます。
←これが初期設定です

「カテゴリの階層表示を維持する」を「はい」にしておくと、常にカテゴリの階層を維持します(チェックを入れたカテゴリが上に来ません)。

「変更を保存」をクリックして設定を保存します。
以降、記事作成、編集中は許可されたカテゴリのみ表示されます。

カスタム投稿をご利用の方

カスタム投稿を利用している場合、カスタム投稿のカテゴリまで制限が及んでしまい、上手く設定が出来なくなるそうです。その場合は、以下のようにファイルを変更すればカスタム投稿のカテゴリも設定画面で設定できるようなのでお試しください。(情報提供: 邑里様)

wp-category-limitation.php 324行目:

```
$categories = (array) get_terms( 'category' ,  
array( 'get' => 'all' ));  
↓  
$categories = (array)  
get_terms(array( 'category' , '自分が設定したカスタムタクソノミー名' ), array( 'get' => 'all' ));
```

上記作業を行った際、設定画面で不具合が発生した場合は以下のように変更すると大丈夫との事です。(情報提供: Fuei様)

wp-category-limitation.php 81行目:

```
if($obj[0]->taxonomy === 'category' ) {  
↓  
if($obj[0]->taxonomy === 'category' || $obj[0]->taxonomy === '自分が設定したカスタムタクソノミー名' ) {
```

引用元 ISプランニング